

### 駅前ショッピングセンター空き店舗 を利用し、多機能型出張所設置を！

黒須 俊隆 議員



問 市長の任期も残すところわずかとなりました。今回が最後の予算編成です。そこで伺いますが、市長任期残り1年に際し公約をどのように実現していくのか。そのような視点から、来年度予算にどのように盛り込んでいくのか、どうやって進めていくのか、どのように考えるのか、質問をいたします。

市長は公約で「快適で便利な都市機能が充実する大網白里」という項目の中で「通勤・通学者のための大網駅周辺の整備」をうたっています。今、大網駅のショッピングセンターに空き店舗があります。この空き店舗を利用すれば、今すぐにも通勤・通学者はもちろん、大網駅を使う市民の全てにとって利便性のある大網駅整備ができるのではないのでしょうか。

答 JR大網駅外房線下の、大網パブリック構内の空き店舗の状況についてお答えいたします。

所管する株式会社JR東日本土地開発に確認したところの賃貸条件につきましては、現在の空き店舗の入居要件でございますが、面積約127平方メートル、入居条件といたしまして、1年目は入居保証金、敷金を含めまして約748万円、2年目以降は賃料と共益費で年額約435万円の費用負担が発生することでございます。なお、この額と光熱水費の維持管理が必要ということでございます。

問 世田谷区の二子玉川駅近くに図書館の本・CDなどの貸出や返却だけの業務を行う図書館カウンターがあります。大網駅前出張所があれば、そんな図書館カウンターの設置ができます。また、常設の観光案内所もつくれます。住民票や印鑑証明など公的書類の申し込みや受け渡しもできます。選挙期間中は、臨時投票所にすることもできるでしょう。さらには、今問題となっている待機児童の受け渡し所にし、受け入れ余裕のある遠くの保育所にバスなどで送迎することもできるでしょう。そんなことまで夢はいくらでも広がると思います。

今すぐにも、駅前利便性向上のための整備ができます。市民にとって利便性のある施策のために、ぜひ検討していただきたいと思いますが、ぜひお考えをお聞かせください。

答 市民の利便性向上のためにの出張所として利用しないかとのことでございますけれども、出張所としての機能を整え、継続的に市民の皆様がサービスを提供していくためには、人的設備及び物的設備を整える必要がございます。新たな施設を設置するにあたりましては、現在の限られた人的・物的資源の中で活用できるスペースと提供できるサービス内容の精査や開設費用のほか、維持管理費などを含めまして慎重に研究してまいりたいと思っております。

2年目から435万ということから、月にすると約36万円の家賃になります。38坪だから坪当たり単価は1万円弱です。駅の構内ですからそこそこ高いとは思いますが、こういう物件はそうそうありません。地方都市の一等地というのほとんどは値下がりしているの、交渉すれば値下げの余地も十分あると思います。ぜひ市民の利便性向上のため駅前出張所の設置を希望します。

### 誰もが安心して投票できる環境と、 いじめのない学校生活を目標して

秋葉 好美 議員



問 投票率アップについて10月に行われた衆院選の投票率は過去の推移と比べてどのような結果だったのか伺います。

答 過去に執行された衆院選の投票率をお答えいたします。

平成21年8月の第45回衆院選は65.6%、平成24年12月の第46回衆院選の投票率が57.7%、平成26年12月の第47回衆院選の投票率が52.41%、今回10月の第48回衆院選は51.29%でした。

問 今答弁を伺いました。選挙は、その時の各政党の政策だったから、今回野党のように新党結成等で、投票率は大きく変わると思いますが、本市は4万2,592人の有権者がいますが、そのうちの棄権者が2万748人と、約半数の方が投票されていないことになりまして、このような方々の棄権防止対策を伺います。

答 有権者の皆様に投票を棄権せず投票して頂くためには、出前講座の実施や地道な啓発活動を行なうことや、期日前投票のPR、各投票所における投票環境の改善を進めることなどにより、投票率の向上に努めてまいります。

問 高齢化が進む過疎地では、人手不足のため投票所を削減せざるを得ないというところもあります。そのためワゴン車の移動期日前投票所を巡回させたり、職員が投票機材を持って期日前投票所が遠い地域を回ることもあると言います。バスで送迎したり、往復のタクシーの無料チケットを高齢者や障害者に配布するなど、移動を支援する自治体が増えていると言われております。このような移動を支援する自治体が全国的にも増えているようです。本市としても、このような支援を考えていくべきかと思いますが、見解をお聞かせください。

### 未来に繋ぐ街づくり 小さな声を市政に生かす

山田 繁子 議員



問 マイナンバーカードについてマイナンバーカードの交付状況について、マイナンバーカードの普及率向上に向けた取り組みについて

答 市民への広報としては、ホームページ及び広報紙にマイナンバーカードに関する記事を掲載しているところである。マイナンバーカードの交付事務については、平日開庁時間のほか、毎月1回、日曜日にも市民課の交付窓口を開設し、マイナンバーカードの普及促進に努めているところである。

問 骨髄移植におけるドナー支援策について

日本骨髄バンクの現状では、2017年8月末現在で、登録者数は全国で476,746人、移植数は2万53例あったと伺っております。我が国では毎年新たに1万人の方々が白血病などの血液疾患を発症し、そのうち骨髄バンクを介した移植が必要とされる方は毎年2千人以上に上るとのことです。しかしながら、ドナー候補が10人以上見つかるケースが多くなった現在でも、移植が必要とされる患者さんの約6割しか実際の移植は行われていないのが現状である。ドナー候補者が、骨髄を提供する際、検査や骨髄の採取などで約1週間の通院や入院が必要で経済的負担も生じる。そこで本市における骨髄バンク助成制度導入への取り組みはどうか。

答 本市におけるドナー登録者は現在67名おります。本市において過去に骨髄バンクに提供された方は平成29年10月末まで7名です。まずは骨髄バンク事業を理解していただくよう広報紙やホームページなどで周知を図るとともに制度の導入に向けて検討します。



成人式着付け直しボランティア(増穂ひまわり会)

問 成人式の式典について

晴れ着の着崩れを直してあげるボランティアの協力、対応について

今年参加者と家族の方から、「早朝からのなれない晴れ着の着用、記念撮影をした写真館からアリーナ会場に着いた頃には着崩れをしてしまい、直すこともできずとても心残りであった。私は終わりましたが、これから成人式を迎える方々が安心して参加できる取り組みを考えて欲しい」との声、過去には大雨や大雪の日もありました。プロとして活躍している方にボランティア協力をお願いしたらいかがか。

答 成人式は大人の門出を祝う記念すべき日、会場において着付けを直すボランティアの協力があればありがたい話である。着付け直し用の場所の設置の対応をしていく。

問 障害等のある方の投票場所の対応策について

歩行困難者、車椅子の人達がスムーズに投票できるよう入口区分、投票台等の工夫について。

答 車椅子の設置台数を含めて引き続き投票所環境の向上に努めてまいりたい。

問 公共交通について

市内の公共交通空白地域を解消するために運行しているコミュニティバス、新路線バスは今後どのようになるのか。

答 最後に大網病院バス停前の待合所の早期実現を要望しました。